

とちぎのあらまし

An Overview of Tochigi Prefecture

2024

(令和6年度)



県民の皆さんとともに

私たちの郷土、栃木県は、関東平野の北部に位置し、緑なす山々と広い平野、日光国立公園、ラムサール条約に登録されている奥日光の湿原や渡良瀬遊水地など豊かな自然に恵まれ、穏やかで暮らしやすい、住む人にも訪れる人にも「健康」と「やすらぎ」を与えることのできる県です。

また、世界遺産に登録された日光の二社一寺や、日本最古の総合大学といわれる足利学校、ギネスブックに登録されている日光杉並木街道など、深い歴史と文化を有し、産業面においては、広大な農地や良質で豊かな水を基に農業や畜産業が盛んである一方、大手企業や技術力の高い中小企業が集積する「ものづくり県」でもあるなど、各産業がバランスよく発展し、豊かな県民生活を築いています。

私は、本県の魅力・実力に更なる磨きをかけ、国内外へ“とちぎの元気”を発信し、一人でも多くの方々に選ばれる栃木を目指して、様々な事業を展開して参りました。これからも、県民の皆さんと、とちぎで生まれ、育ち、暮らす喜びや誇りを分かち合うとともに、未来に誇れる「新しいとちぎ」づくりに一丸となって取り組んで参りたいと考えております。

この「とちぎのあらまし」は、栃木県の概要や県庁の業務を御理解いただくために作成したものです。これからの“とちぎづくり”を考えるための参考としていただければ幸いです。



栃木県知事 福田 富一



ようこそ知事室へ

～もくじ～

特集	とちぎの魅力・実力ランキング…… 1
本編	とちぎのすがた…………… 8
	とちぎの産業…………… 12
	県庁のしくみと仕事…………… 14
	県の予算…………… 15
	県政運営の基本的な考え方…………… 16
	主な県有施設…………… 18
	あなたの声を県政に・相談窓口…… 20
	県政情報…………… 21

栃木県マスコットキャラクター

《生まれたところ》
栃木県
(県庁前のトチノキ)

栃木県元気ニコニコ室長
とちまるくん

《誕生日》
11月11日

《得意なこと》
とちまるくん体操と
かけっこ

《将来の夢》
栃木県の「元気」と
「ニコニコ」で全国の
お友だちを笑顔にすること



特集

とちぎの魅力・実力

Ranking

ランキング

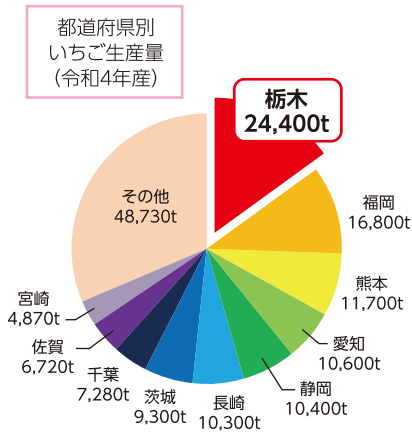


POINT 1

とちぎは首都圏の“食のオアシス”

農業産出額
第9位

◎いちごは昭和43年から連続で生産量日本一



★とちあひか

10月～6月



酸味が少なく甘さが際立ち、たくさん食べたいいちご

★とちおどめ

10月～6月



甘さと酸味のバランスが抜群、味が濃く果汁たっぷりの味わい

★スカイベリー

11月～6月



大粒できれいな形と色が特徴、贈り物に最適ないちご

★ミルキーベリー

12月～5月



酸味が少なく、まろやかな食感と甘みが特徴のいちご

★とちひめ

12月～5月



王国の観光いちご園や直売所でのみ楽しめる幻のいちご

★なつおどめ

7月～10月



縦に切るとハートが現れる、ほどよい酸味でスイーツに最適

◎生産量全国トップクラスの農畜水産物(令和4年)



かんぴょう: 第1位



二条大麦: 第2位



にら: 第2位



生乳: 第2位



あゆ(漁獲量): 第2位



日本なし: 第3位



トマト: 第5位



肉用牛(飼養頭数): 第7位



水稻: 第8位

※順位は生産量・かんぴょうは令和2年、水稻・肉用牛は令和5年のデータ

◎“ものづくり県”とちぎ

- 大手企業の生産拠点や技術力の高い中小企業が集積し、製造品出荷額等は全国第12位(令和3年)
- 県内総生産に占める製造業の割合 全国第3位(令和2年度)
- 県内総生産に占める第2次産業の割合 全国第3位(令和2年度)
- 国内最大規模の内陸型工業団地「清原工業団地」

◎MADE IN とちぎ

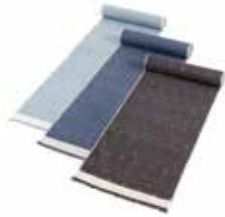
- 出荷額全国第1位の工業製品がずらり!(令和3年)
 - ◆硬質プラスチック発泡製品(厚板)
 - ◆医療用X線装置
 - ◆ふとん
 - ◆砕石
 - ◆シャッター
 - ◆歯科用機械器具・同装置

◎すぐれた伝統の技～とちぎの伝統工芸品～

- 結城紬(ユネスコ無形文化遺産、国指定伝統的工芸品)

memo

結城紬は、栃木県を代表する絹織物で、現在、小山市や下野市などを中心に作られています。繭(まゆ)、真綿、糸つむぎ、染め、織りと一貫して丹念に作られるため丈夫で軽く、縞(しま)柄と細かい縞(かすり)柄を特色とした最高級品として知られています。昭和31年に国の重要無形文化財に指定され、平成22年には本県で初めてユネスコ無形文化遺産に登録されました。



- 益子焼(国指定伝統的工芸品)

memo

益子焼は、益子の良い土味(つちあじ)と、登り窯をはじめとする伝統的な技法によって生み出されます。さまざまな釉薬(ゆうやく)の組み合わせが独特の雰囲気を出し、お皿や茶わん、湯呑みなど、身近な日用品を中心に作られてきた気取りのない肌合いが魅力です。令和2年には兄弟産地と呼ばれる笠間焼(茨城県笠間市)と連携し、「かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”～」として日本遺産に認定されました。



- 鹿沼組子、烏山手すき和紙、竹工芸、天明鋳物、日光彫、間々田紐、真岡木綿など59品目



とちぎの伝統工芸品について
詳しくはこちらから



鹿沼組子

◎世界が認めた歴史遺産

- 「日光の社寺」は平成11年にわが国で10番目の世界遺産として登録(日光の社寺:日光二荒山神社、日光東照宮、日光山輪王寺の二社一寺)
- 令和2年に(公財)日光社寺文化財保存会の技術「建造物彩色」と「建造物漆塗」が、全国17の「伝統建築工匠の技」の中の2件として、ユネスコ無形文化遺産に登録

memo

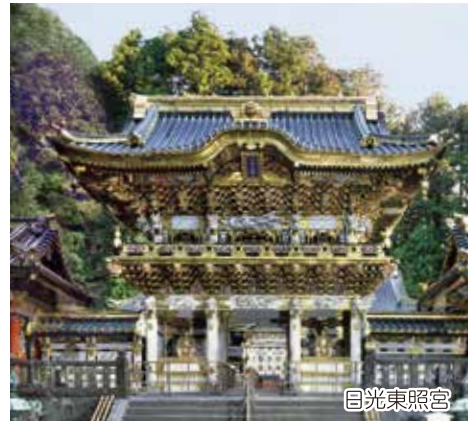
「日光の社寺」の境内地は、奈良時代以来の修験道・山岳信仰の聖地で、江戸時代以降は東照宮を中心とする徳川家の廟所として繁栄を極めました。国宝9棟、重要文化財94棟、合計103棟からなる荘厳、華麗な建造物群は高い芸術的・歴史的価値を持っており、これをとりまく自然環境とともに、聖地としての日光の歴史を現在まで継承しています。



日光山輪王寺



神橋



日光東照宮

- 「日光杉並木街道」はギネスブック認定の世界一長い並木道(全長約37キロメートルは宇都宮環状道路や山手線とほぼ同じ)

memo

日光杉並木街道は、わが国で唯一、国の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けた貴重な文化遺産であり、12,000本余りの杉が連なる並木道です。1625年から植樹が開始され、2025年(令和7年)に植樹開始400年を迎えます。



日光杉並木街道

- 「足利学校」は日本最古の学校

memo

足利学校は、創建について諸説ありますが、日本最古の学校ともいわれています。最盛期には3,000人を超す学生が集まり、フランシスコ・ザビエルなどによって西欧に「日本最大の坂東の大学」と紹介されました。大正10年に国の史跡に指定され、平成27年には「近世日本の教育遺産群」の一つとして日本遺産にも認定されました。



足利学校

◎ユネスコ無形文化遺産に登録された伝統文化

- 平成28年に「烏山の山あげ行事」と「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」が、全国33の「山・鉾・屋台行事」の中の2件として、ユネスコ無形文化遺産に登録



烏山の山あげ行事



鹿沼今宮神社祭の屋台行事

memo

450年以上の歴史を誇る烏山の山あげ行事は、竹を組んだ枠に烏山特産の和紙を貼り山水を描いた「はりか山」を背景に、常磐津の三味線と唄にのって踊りが披露される移動式野外劇が名物です。

鹿沼今宮神社祭の屋台行事は、今宮神社の例祭に合わせ氏子各町から荘厳華麗な彫刻屋台が曳き出される行事で、軽快な囃子にのって毎年約20台が奉納されます。



とちぎの文化財について
詳しくはこちらから



とちぎの文化財

とちぎデジタルミュージアム
“SHUGYOKU”(珠玉)

◎アクセス抜群の栃木県!

- 宇都宮から東京まで新幹線で最短48分
- 車の移動も東北道・北関東道に加え、圏央道の利用で、国内各地・空港・港湾へ楽々アクセス

交通アクセス

(宇都宮起点)



新幹線
東京:最短48分
名古屋:約3時間
新大阪:約3時間30分



空港アクセス
羽田空港:約1時間30分
成田空港:約1時間30分
茨城空港:約1時間



港湾アクセス
京浜港:約2時間
茨城港:約1時間



◎住めば実感! 「安全・安心」・「四季の移り変わり」

- 地震・風水害など大規模な自然災害が比較的少ない
- 寒暖の差(日最高気温の月平均の最高値と日最低気温の月平均の最低値の差)が32.9℃と大きく(全国第9位)、はっきりした四季を楽しむ

◎豊かさでも全国上位

- 1人当たり県民所得第4位(令和2年度)
- 1住宅当たりの敷地面積第5位(平成30年)

◎とちぎの自然は“世界級”



男体山と中禅寺湖



華厳滝



小田代原

渡良瀬遊水地
利根川上流河川事務所提供

- 世界に誇る日光国立公園やラムサール条約湿地

memo

全国第4位の面積がある日光国立公園は「奥日光の湿原」や日本三名瀑「華厳滝」で有名です。また栃木県では、平成17年に「奥日光の湿原」が、平成24年には「渡良瀬遊水地」が、それぞれラムサール条約湿地に登録されています。



鬼怒沼

- 標高2,000メートルの高層湿原「鬼怒沼」

memo

鬼怒川の水源である鬼怒沼は、標高2,000メートルを超える位置にあり、尾瀬ヶ原よりも600メートル高く、日本で有数の高所にある湿原といわれています。周囲約4キロメートルの湿原には大小約50個の沼が点在しています。



川治温泉

- 温泉がいっぱい。温泉源泉総数は全国第10位(令和3年)

memo

古くから温泉で有名なとちぎ。年間を通じて多くの方が訪れています。自然にあふれ、多様な泉質も特徴です。特に、県北西部の山岳地帯に多くの温泉があります。

◎知られざる“国際避暑地”

- 中禅寺湖畔には、現役の外国大使館別荘(仏、ベルギー)と、旧大使館別荘(イタリア・英国の別荘を記念公園として整備し、公開中)がある
- 明治中期から昭和初期にかけて、各国の大使館別荘をはじめ多くの外国人別荘が建てられた



イタリア大使館別荘記念公園



英国大使館別荘記念公園

◎とちぎのおいしい水

- 尚仁沢湧水(塩谷町)などおいしい水が豊富
これらの水で地酒を醸す酒蔵は32か所と「知る人ぞ知る酒どころ」



尚仁沢湧水

◎“とちぎ人”って どんな人？

- とちぎ人は「誠実、勤勉」で、「人柄が良く、人情味がある」と言われる
- とちぎ人は「親しみのある栃木弁」を使う…「いかんべ」「だいじ」「こわい」「でれすけ」「あったらもん」「こでらんない」「～なんしょ」など

◎名誉県民

《島岡達三さん(1919～2007／陶芸家) 平成14年顕彰》—————●
 益子町に窯を築き、縄文象嵌(じょうもんぞうがん)の手法で独自の世界を確立した、日本を代表する陶芸家のひとりです。平成8年には、重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。東京都出身



《船村徹さん(1932～2017／作曲家) 平成26年顕彰(平成14年には県民栄誉賞を受賞)》—————●
 日本の歌謡界の第一人者として「別れの一本杉」「王将」「矢切の渡し」など、数多くのヒット曲を生み出しました。また、日本音楽著作権協会名誉会長や日本作曲家協会最高顧問の要職を務めるなど、音楽界の発展に貢献した功績により、平成28年には、文化勲章を受章しました。塩谷町(旧船生村)出身



《渡辺貞夫さん(サクソ奏者) 平成26年顕彰(平成14年には県民栄誉賞を受賞)》—————●
 音楽界を常にリードしてきた、国際的なジャズのサクソ奏者で、「マイディアライフ」「カリフォルニアシャワー」などの代表作があります。子どもたちに音楽を指導する活動も続けており、音楽にあふれる街づくりをめざしています。宇都宮市出身



◎県民栄誉賞

船村徹さん、渡辺貞夫さん、渡辺俊介さん(元プロ野球選手:栃木市)、石井琢朗さん(元プロ野球選手:佐野市)、安藤梢さん(女子サッカー選手:宇都宮市)、鮫島彩さん(女子サッカー選手:宇都宮市)、萩野公介さん(元競泳選手:小山市)、高藤直寿さん(柔道選手:下野市)

◎とちぎ未来大使

とちぎの魅力・実力を発信する「とちぎ未来大使」に、U字工事さん(お笑い)、大島美幸さん(お笑い)、石川恋さん(モデル・女優)、菊池柚花さん(キャスター・タレント)、田臥勇太さん(プロバスケットボール選手)など、各界で活躍する416名の方を委嘱(令和6年2月末現在)



U字工事さん

◎“とちぎ人”の食



日光湯波



日光天然氷のかき氷



しもつかれ



とちぎの地酒



いもフライ



宇都宮餃子®



宇都宮カクテル



プレミアムヤシオマス



佐野らーめん



じゃがいも入り焼きそば



レモン牛乳



とちぎの蕎麦

◎皇室ゆかりの地

- 那須御用邸と御料牧場を有し、毎年、皇室の方々が御静養にお越しになる。御用邸は、かつて、日光田母沢、日光山内、塩原にもあった
- 平成23年、那須御用邸の敷地の約半分が一般公開されて、「那須平成の森」として開園。「ふれあいの森」や「学びの森」、「駒止の滝」などがある



日光田母沢御用邸記念公園



那須平成の森



駒止の滝

◎スポーツ王国とちぎ

- サッカー(栃木SC、栃木シティフットボールクラブ)
- バスケットボール(宇都宮ブレックス)
- アイスホッケー(H.C.栃木日光アイスバックス)
- サイクルロードレース(宇都宮ブリツェン)
- 野球(栃木ゴールデンブレーブス) ほか

栃木県 TOCHIGI PREFECTURE
SPORTS COMMISSION
スポーツコミッション



自治体、プロスポーツチーム、観光団体等の官民連携でスポーツを活用した地域活性化に取り組む「栃木県スポーツコミッション」が中核となり、スポーツツーリズムを推進しています。



◎「移住希望地ランキング」全国第3位(令和4年)

- 東京に近く、充実した交通インフラ
- 通勤、二地域居住に適した環境
- 新たな東西基幹公共交通「LRT」開業
- 街中から大自然まで自分のライフスタイルに合わせ選択可能



芳賀・宇都宮LRT(ライトライナー)

とちぎのすがた

とちぎの地勢

栃木県は、関東地方北部に位置し、東は茨城県、西は群馬県、南は茨城、埼玉、群馬の三県、北は福島県に接する内陸県で、首都東京の北方60キロメートルから160キロメートルの位置にあります。

県の東部は、標高300メートルから1,000メートルのなだらかな山々からなる八溝山地。北部から西部は、那須連山、帝釈(たいしゃく)山地、日光連山、足尾山地が連なる山岳地帯で、特に日光連山は、白根山、男体山、女峰山など標高2,000メートルを超える火山が連なります。北部、中央部から南部にかけては、那珂川、鬼怒川、渡良瀬川流域の平野が広がっています。

栃木県は、県土の約54パーセントを森林が占める自然豊かな県です。北部から西部にかけての山岳地帯は日光国立公園に指定され、国際観光地日光をはじめ、温泉郷として全国的に知られる那須、塩原、鬼怒川、川治など、多くの観光資源に恵まれています。



とちぎの人口・面積

栃木県の人口は1,895,025人(令和5年10月1日現在。令和2年の国勢調査では全国第19位)、一方、東西約84キロメートル、南北約98キロメートルに及ぶ栃木県の面積は6,408.09平方キロメートル(全国第20位)で関東地方では最大です。県内には14市11町があります。なお村はありません。

県庁所在地の宇都宮市は、県人口の約4分の1に当たる513,257人を擁する中核市です。また、県北西部の日光市は、県面積の22.6パーセントを占める1,449.83平方キロメートルで、岐阜県高山市、静岡県浜松市に次いで全国第3位となる広大な市です。



【県内25市町の人口・面積】(令和5年10月1日現在)

	市 町 名	人口(人)	面積(km ²)		市 町 名	人口(人)	面積(km ²)
1	宇 都 宮 市	513,257	416.85	14	下 野 市	59,174	74.59
2	足 利 市	139,764	177.76	15	上 三 川 町	30,435	54.39
3	栃 木 市	151,520	331.50	16	益 子 町	20,940	89.40
4	佐 野 市	113,056	356.04	17	茂 木 町	11,130	172.69
5	鹿 沼 市	91,578	490.64	18	市 貝 町	10,826	64.25
6	日 光 市	73,986	1,449.83	19	芳 賀 町	14,806	70.16
7	小 山 市	166,234	171.75	20	壬 生 町	38,798	61.06
8	真 岡 市	77,374	167.34	21	野 木 町	24,408	30.27
9	大 田 原 市	70,471	354.36	22	塩 谷 町	9,609	176.06
10	矢 板 市	29,979	170.46	23	高 根 沢 町	28,655	70.87
11	那 須 塩 原 市	114,175	592.74	24	那 須 町	23,246	372.34
12	さ くら 市	44,126	125.63	25	那 珂 川 町	14,117	192.78
13	那 須 烏 山 市	23,361	174.35		栃 木 県 計 (14市・11町)	1,895,025	6,408.09

とちぎのシンボル

●**県章・県旗** 県章のデザインは、県内の在住者及び本県の出身者から公募して選定しました。図案の意味は、「栃」の字を抽象化し、エネルギッシュな向上性と躍動感を表現したもので、3本の矢印は「木」の古代文字を引用したものです。大きさ及び色は自由です。(昭和37年12月1日告示) 県旗は、黄緑色の地の中央に白色で県章を配置したものです。大きさは自由ですが、横と縦の寸法比率は10対7で、県章図案の縦は県旗の縦の3分の1と決められています。(昭和39年3月1日告示)



●**県木「トチノキ」** 平和のシンボルである緑の意義を自覚し環境緑化を推進するため、県庁内で組織された企画調整委員会で選定されました。この木は、その名前により古くから郷土の木として親しまれている落葉樹です。葉は手を広げたような形をしており、5月頃、白やピンクの優雅な花を咲かせます。また、その実は、粉末にして餅や団子などの材料としても利用されています。(昭和41年6月28日告示)



●**県獣「カモシカ」** 県民に野生動物を理解してもらい愛護の精神を高めるとともに、明るい話題を提供するため県鳥獣審議会の答申により選ばれました。体はシカよりやや小さく、オス・メス両方に短い角が生えています。県北西部の山地の奥深くにすみ、性格はおとなしく、草や木の葉などを食べています。日本固有のウシ科の動物で、特別天然記念物に指定されている貴重な動物であることから県獣に指定されました。(昭和39年1月17日告示)



●**県花「やしおつつじ」** 県民の郷土愛と郷土意識を高めるとともに、昭和45年に開催された日本万国博覧会を記念して、県花選定委員会の答申により選ばれました。那須高原、塩原、日光などを中心に、県中央部や南部の山地にも広く分布しているツツジ科の落葉低木です。花は、直径5センチメートルくらいで、ピンク、白色、濃い赤紫色のものがあり、4月中旬から5月上旬にかけて咲く本県の春のシンボルです。(昭和44年10月1日告示)



●**県鳥「オオルリ」** 県民に野生鳥獣を理解してもらい愛護の精神を高めるとともに、明るい話題を提供するため、県鳥獣審議会の答申により選ばれました。ウグイス、コマドリとともに日本三大鳴鳥の1つに数えられる渡り鳥です。5月頃南方から渡ってきて、10月初め頃まで日光、塩原、那須などの渓谷にすみます。雄は美しい瑠璃色で姿もよいことから、県鳥に指定されました。(昭和39年1月17日告示) 県民の日のマスコット「ルリちゃん」は、オオルリをモデルにしています。



●**県民の歌** 県民の郷土愛を高め、明るく豊かな住みよい郷土をつくるため、県民の歌の制定を求める声が高まりつつあった中、県内在住者及び県出身者から公募、選定されました。(昭和37年12月25日告示) 作詞は岡きよし氏、作曲は川島博氏。なお、県民の歌は、平成26年3月、通信カラオケで全国配信が開始されました。(DAM選曲番号:5033-51)

岡きよし 作詞

川島博 作曲

栃木県県章・県民の歌選定委員会 補作



- 一、とちの葉の 風さわやかに 晴れわたる 町よいらかよ
男体は 希望に明けて 日の光 よもにみなぎる
栃木県 われらの われらのふるさと
- 二、鬼怒川の 水きよらかに 尽くるなき さちよ恵みよ
生産は 日ごとに伸びて躍進の いぶきたくまし
栃木県 われらの われらのふるさと
- 三、人の和の 夢おおらかに 盛りあがる 自治よ自由よ
けんらの 文化にはえて とこしえに 若さあふるる
栃木県 われらの われらのふるさと

とちぎ 豆 知識

●栃木県～県名の由来

「栃木」という県名は、本県最初の県庁所在地「栃木町」（現栃木市）に由来していますが、この地名の語源には様々な説があります。

【十千木説】 栃木町内に神明宮（しんめいぐう）という神社があり、この屋根にある二本の千木（ちぎ）と八本の鯉木（かつおぎ）を遠くから見ると十本の千木に見えたことから、この周辺を「十千木」（とおちぎ）と呼ぶようになったという説。

【トチノキ説】 トチノキが多く生えていたという説。

【崩壊地名説】 市内を流れる巴波川（うずまがわ）は、かつて度々氾濫を起こしたことから、崩壊地を表す「チギ（る）」に接頭語「ト」が付いたという説。

とちぎの生いたち

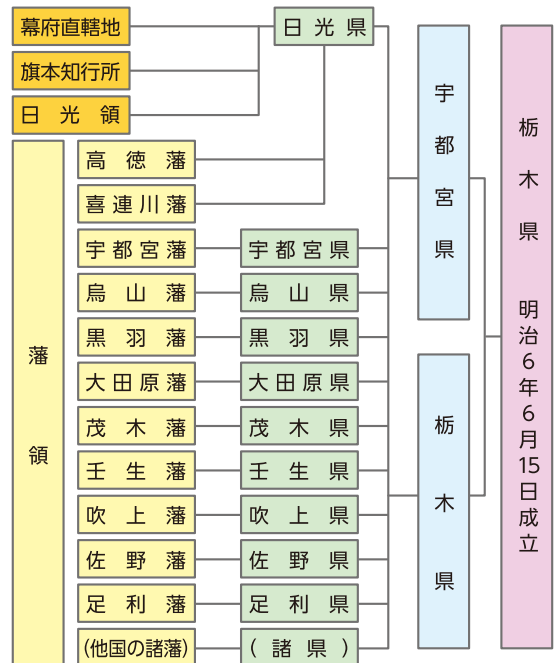
●**旧石器時代～平安時代** 大和朝廷の勢力が東へ拡大したところの本県は、下毛野国(しもつけぬのくに)と那須国がありました。7世紀後半、統一されて下野国、すなわち栃木県の原型が形作られました。下野国は9郡に分かれ、政治の中心として国府が置かれました。国府付近には、国分寺・国分尼寺・下野薬師寺がつけられて、都から伝えられた華やかな文化が栄えました。

●**鎌倉時代～江戸時代** 鎌倉幕府が成立すると、小山・宇都宮・足利・那須などの下野の武士も御家人として活躍しました。なかでも小山氏は、下野国の守護を務め、一族は結城・長沼等に分かれて栄えました。また、宇都宮氏の「宇都宮歌壇」は都までその名声をうたわれ、足利学校は「坂東の大学」として宣教師によってヨーロッパにまで隆盛の様子が伝えられました。

徳川家康が幕府を開くようになると、中世以来の豪族は相次いで下野から姿を消し、天領や旗本領に細分化され大名や旗本が支配するようになりました。日光は幕府の聖地として、東照宮をはじめとする華麗な建物が作られ、特別に保護、崇敬されました。また、二宮尊徳は、近世後期の荒廃した農村の立て直しを図るため、桜町(現在の真岡市二宮地区)の旗本領の復興に努め、以後各地で報徳仕法と呼ばれる改革事業を実施しました。

●**幕末～近・現代** 戊辰戦争を経て明治維新を迎えると、政府は中央集権を推し進めるため廃藩置県を断行し、旧来の封建支配の一掃を図りました。さらに県の整理統合が進められ、1873年(明治6年)6月15日に今日の栃木県が成立しました。県庁は、最初栃木町(現在の栃木市)に置かれていましたが、1884年(明治17年)に宇都宮町(現在の宇都宮市)に移されました。

【栃木県の成立】



【市町村数の変遷】

	明治22.4.1	昭和35.4.1	平成27.4.1
市	0	11	14
町	26	28	11
村	145	15	0
計	171	54	25

とちぎ豆知識

●県庁舎の変遷

明治		大正	昭和	平成	令和	
初代	2代	3代		4代		5代



初代(明治5年～明治17年)
[片岡写真館(栃木市)提供]



第2代(明治17年～明治21年)



第3代(明治23年～昭和11年)



第4代(昭和13年～平成15年)



第5代(平成19年落成)



栃木県のあゆみ(明治以降)

もっと詳しい栃木県のあゆみはこちらから▶



明治	6年	(1873)	宇都宮県を廃し栃木県に併合(現在の栃木県誕生)
	12年	(1879)	最初の県会議員選挙
	17年	(1884)	県庁移転(現在の栃木市から宇都宮市へ)
	18年	(1885)	東北本線(大宮-宇都宮間)開通 那須疏水(本幹水路)完成
	21年	(1888)	両毛線(小山-足利間)開通
23年	(1890)	日光線全線開通	
44年	(1911)	県人口100万人を超える	



※栃木県立博物館所蔵

栃木県庁之図(宇都宮市)

大正	3年	(1914)	足尾鉄道(現在のわたらせ渓谷鐵道)全線開通
	9年	(1920)	真岡線(現在の真岡鐵道)全線開通
	12年	(1923)	烏山線全線開通

昭和	4年	(1929)	東武日光線(浅草-日光間)全線開通
	9年	(1934)	日光国立公園指定
	20年	(1945)	宇都宮空襲
	22年	(1947)	カスリーン台風
	24年	(1949)	今市地震
	37年	(1962)	県章制定 県民の歌制定
	38年	(1963)	ラジオ栃木(現在の栃木放送)開局
	48年	(1973)	県制百年記念式典開催
	49年	(1974)	東北自動車道県内全線開通
	53年	(1978)	日足トンネル開通 *県内最長2,765m
	55年	(1980)	第35回国民体育大会(栃の葉国体)開催 第16回全国身体障害者スポーツ大会(栃の葉大会)開催
	56年	(1981)	日光宇都宮道路全線開通
	57年	(1982)	第33回全国植樹祭開催 東北新幹線県内全線開通
	59年	(1984)	'84とちぎ博開催
	60年	(1985)	県民の日制定
61年	(1986)	野岩鉄道全線開通 茂木水害	
63年	(1988)	食と緑の博覧会 イートピアとちぎ'88開催	



※栃木県立文書館寄託 新井常雄氏撮影写真



平成	6年	(1994)	エフエム栃木(RADIO BERRY)開局
	7年	(1995)	第10回国民文化祭・とちぎ'95開催
	8年	(1996)	宇都宮環状道路(宮環)全線開通 第20回全国育樹祭開催
	9年	(1997)	県人口200万人を超える
	10年	(1998)	北関東・南東北豪雨
	11年	(1999)	とちぎテレビ開局 「日光の社寺」世界遺産登録
	12年	(2000)	第17回全国都市緑化フェア(マロニエとちぎ緑花祭2000)開催
	17年	(2005)	「奥日光の湿原」ラムサール条約湿地登録
	19年	(2007)	第5代県庁舎(現在の本庁舎)落成
	22年	(2010)	「結城紬」ユネスコ無形文化遺産登録
	23年	(2011)	東日本大震災 北関東自動車道全線開通
	24年	(2012)	「渡良瀬遊水地」ラムサール条約湿地登録
	26年	(2014)	第27回全国健康福祉祭(ねんりんピック栃木2014)開催
	27年	(2015)	平成27年9月関東・東北豪雨
	28年	(2016)	「烏山の山あげ行事」「鹿沼今宮神社祭の屋台行事」ユネスコ無形文化遺産登録
30年	(2018)	いちご生産量50年連続日本一 1月15日「いちご王国・栃木の日」宣言	



令和	元年	(2019)	大嘗祭悠紀地方の斎田に栃木県が選ばれる 令和元年東日本台風
	2年	(2020)	新型コロナウイルス感染症の流行 日光社寺文化財保存会「建造物彩色」「建造物漆塗」ユネスコ無形文化遺産登録
	4年	(2022)	第77回国民体育大会(いちご一会とちぎ国体)開催 第22回全国障害者スポーツ大会(いちご一会とちぎ大会)開催
	5年	(2023)	栃木県誕生150年 G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合開催 芳賀・宇都宮LRT(ライトライン)開業

とちぎの産業

栃木県は、首都圏に位置する地理的優位性、勤勉な県民性といった発展的な要素を基礎として、バランスのとれた産業活動を展開しています。その結果、農業産出額は全国第9位、製造品出荷額等は全国第12位など全国有数の産業県となっています。

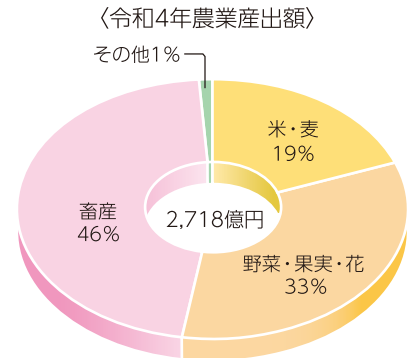
また、栃木県には、世界にその名を知られる日光国立公園をはじめとして、8つの県立自然公園があり、四季折々の豊かで美しい自然に恵まれています。加えて鬼怒川・那須・塩原といった数多くの温泉郷もあり、毎年多くの観光客が栃木県を訪れます。

農林業

●成長産業として発展する農業

栃木県の主要農産物には、いちごやなら、生乳、米など、生産量で全国上位を占めているものが多くあります。

県では、「成長産業として持続的に発展する農業・栃木」の実現に向けて、本県の強みや発展可能性を最大限に生かしながら、県内外から意欲ある人材の確保、知恵と技術力による生産性の向上と農産物の高付加価値化の推進によって、産業活力を高め、本県農業の新たな魅力と価値の創造を目指しています。



○主要農産物生産量(令和4年)



品名	生産量	全国順位
水稲	284,200t	8
二条大麦	32,000t	2
いちご	24,400t	1
なら	8,320t	2
さといも	7,350t	5
トマト	32,000t	5
日本なし	17,000t	3
六条大麦	4,230t	5
うど	570t	1

品名	生産量	全国順位
なす	11,500t	7
かんぴょう	209t	1
こんにゃくいも	458t	2
肉用牛(飼養頭数)	84,900頭	7
シクラメン	765千鉢	7
生乳	359,211t	2
あゆ(漁獲量)	299t	2
にじまず(養殖量)	279t	5

※水稲、肉用牛は令和5年のデータ

※かんぴょう、うどは令和2年のデータ

●活力ある林業・木材産業の振興

栃木県では、活力ある林業・木材産業の振興を図るため、「伐(き)って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用の促進、優れた林業担い手の育成、林業経営体の体質強化、生産基盤整備等によるコストの縮減及び県産木材の安定供給と利用の拡大を進めています。また、森林・林業を支える山村地域の主要産業である特用林産の振興に取り組んでいます。

NEW 栃木県林業大学校

本県林業人材の確保・育成の中核を担う拠点として、4月に開校しました！

紹介動画は
こちらから▶



●宇都宮市下小池町280
☎028-612-6069



とちぎ豆知識

■とちぎのいちご「とちあいか」



いちご研究所が育成した新品種。大粒で甘みが強く、とちおとめに比べ収量性や、輸送性に優れる期待のいちごです。

■とちぎのなし「にっこり」

農業試験場で育成。果実は甘くてみずみずしく、大きいものでは1個1kgを超えます。10月から収穫され正月頃まで食べられます。



■とちぎのしいたけ



原木しいたけ

菌床しいたけ

豊富な広葉樹資源を活用し生しいたけ全国第7位の生産量(令和4年)を誇っています。

商工業

栃木県では、首都圏に位置する恵まれた立地特性に加えて、内陸型としては国内最大級の規模を誇る宇都宮清原工業団地などへの高付加価値型産業の集積を生かし、地域経済への波及効果が大きい企業の県内への立地促進と本社・研究開発機能の集積・拡大に努めています。

また、自動車や航空宇宙など、県が重点的に振興を図る産業分野において、産学官金ネットワークを活用しながら、中小企業の人材育成や研究開発などを支援するとともに、食をテーマに地域経済が成長・発展し、活力あふれる「フードバレーとちぎ」を目指して、“食”に関連する産業の振興を図っています。

さらに、地域経済を支える中小・小規模企業の成長及び持続的発展を図るため、創業から事業承継に至るまで切れ目のない支援を行っています。



観光

栃木県は、世界遺産に登録された「日光の社寺」に代表される優れた歴史文化、四季折々の美しい自然、豊富な温泉、いちごや和牛、湯波などの多彩な特産物、結城紬や益子焼などの伝統工芸品、さらには各地に根付いている伝統芸能など、魅力的な資源に恵まれ、毎年、県内外からの多くの観光客で賑わっています。

県では、首都圏を中心とした観光・物産展の開催や、ホームページやSNSなどを活用した誘客宣伝活動を展開するとともに、東アジア、東南アジア及び米国での観光プロモーションや海外メディア・旅行会社の招請などにより外国人観光客の誘致を図っています。さらに、映画・テレビなどのロケ撮影を誘致し、本県の魅力を映像として発信するフィルムコミッション活動を積極的に推進しています。



栃木県には魅力的な観光地がたくさんあるまる。
みんな来てまる～!



湯西川温泉(日光市)



大雄寺(大田原市)



大谷資料館(宇都宮市)



あしかがフラワーパーク(足利市)



焼森山(茂木町)

県庁のしくみと仕事 (令和6年4月1日現在)

- 県民の代表である県議会が決定されたことを実施する執行機関は、知事及び各種行政委員会です。
- 知事の仕事を進めるため、副知事を置くとともに、8部2局の組織があります。
- 行政委員会は、知事から独立した立場で仕事を進めるために設けられています。

県の役割

都道府県は市町村を包括する広域的な地方公共団体として、市町村の区域を越える広域的な事務、市町村間の連絡調整及び一般の市町村が処理することが適当でないと認められる事務を処理しています。



部局名	仕事の概要
総合政策部	重要な政策の企画立案や県政の発信、また組織横断的な問題に迅速かつ的確に対応できるよう、県行政の総合調整を行っています。また、市町村を支援する仕事や地域の振興、デジタル化の推進に関する仕事をしています。
経営管理部	予算の編成や職員に関すること、行政改革の推進、税の徴収、文書や県有財産の管理、デジタル県庁の推進など、県庁の運営に関する仕事をしています。
生活文化スポーツ部	NPO、若者、外国人等の多様な主体の参画による協働の推進やスポーツ・文化の振興、人権啓発、男女共同参画の推進、消費者保護・交通安全など安全で安心な県民生活の確保の仕事のほか、統計調査に関する仕事をしています。
保健福祉部	県民の健康づくり、病気の予防や医療に関すること、高齢者・児童・障害者などの県民の福祉の向上を図る仕事や生活衛生の向上に関する仕事をしています。
環境森林部	気候変動対策、大気や水などの地域環境や自然環境の保全、資源循環の推進や、廃棄物対策に関する仕事と、森林づくりや林業・木材産業の振興に関する仕事をしています。
産業労働観光部	中小企業に対する融資や経営・技術の支援、新規産業の育成や企業誘致の仕事のほか、国際化への対応や観光の振興、産業人材の育成や雇用の確保などの仕事をしています。
農政部	農業の担い手の確保・育成、園芸作物の生産拡大、農地等の生産基盤や農村環境の整備のほか、新技術の開発・普及や農産物のブランド力強化など、農業・農村の振興に関する仕事をしています。
県土整備部	経済の発展や安全安心な暮らしを支えるため、道路を作ったり、河川を管理したりするほか、土地区画整理、公園、下水道整備、公共交通体系の整備など、快適な県土づくりの仕事をしています。
危機管理防災局	自然災害など防災・危機管理に関する仕事をしています。
会計局	県公金の出納及び決算、物品の調達・管理及び処分等に関する仕事をしています。
企業局	水力発電による電力の供給や水道用水・工業用水の供給、産業団地等の造成・分譲など、県民のライフラインや産業インフラを支える地方公営企業の仕事をしています。
議会事務局	予算や条例などの県政の重要な事項を決定する本会議や常任委員会等の運営、議事録の作成、議案の調査等に関する仕事をしています。
人事委員会事務局	職員の採用試験、職員の給与等の勧告、職員の不利益処分に関する審査請求等に関する仕事をしています。
監査委員事務局	県の財務に関する事務の執行等の監査に関する仕事をしています。
労働委員会事務局	労使間の紛争に対し、公平・中立的な立場から解決を図るための仕事をしています。
警察本部	安全で安心な地域社会をつくるため、犯罪の予防・捜査、交通取締り、運転免許証の交付などの仕事をしています。
教育委員会事務局	県民が生涯にわたって、学校や家庭、地域など様々な場できいきと学べるよう、教育の推進に関する仕事をしています。



庁舎・組織の案内



職員募集案内



県の予算

令和6年度当初予算

- 一般会計……9,328億円（県政一般のための経費、例えば保健・福祉・教育・土木などに）
- 特別会計……2,180億4,992万円（国民健康保険事業など）
- 企業会計……255億5,300万円（病院事業、電気事業、水道事業、用地造成事業など）



詳細はこちらから

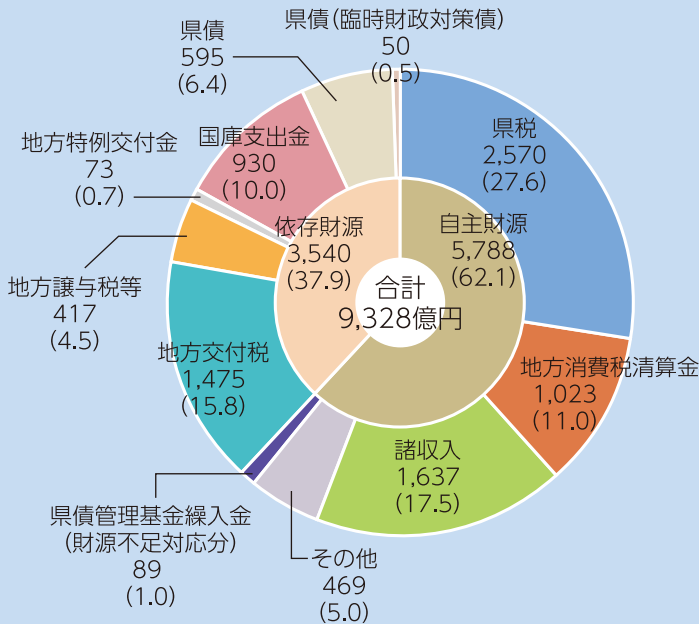
◇令和6年度当初予算では、中期的な視点に立った財政運営を基本としつつ、選択と集中を図りながら必要な財源を確保し、「とちぎ少子化対策緊急プロジェクトの推進」や、「G7大臣会合を契機とした女性活躍の推進」など、重点事項の積極的な展開に取り組むとともに、「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略(第2期)」の着実な推進を図ることとしました。

◇この結果、一般会計の歳入歳出予算総額は9,328億円(対前年度比458億円減、4.7%減)となりました。

《一般会計予算の内訳》

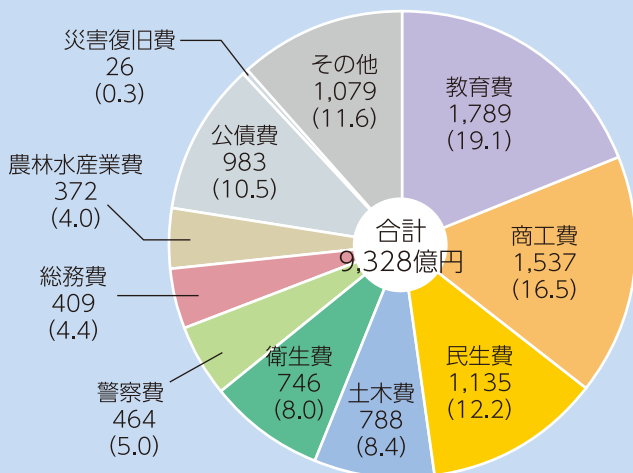
(1) 歳入 9,328億円

※単位:億円(%)



(2) 歳出 9,328億円

※単位:億円(%)



《一世帯当たりの支出内訳》

商工業の発展に
188,103円



福祉の向上と
健康づくりに
230,212円



教育・文化に
218,867円



住宅・公園・
下水道・道路等に
96,428円



犯罪、交通事故の
防止に
56,816円



農林水産業の
発展に
45,526円



地方債の償還に
120,355円



その他
185,230円



合計
1,141,537円



(世帯数817,144世帯 令和6年1月県毎月人口調査)

県政運営の基本的な考え方



栃木県重点戦略 **とちぎ未来創造プラン**

県では、令和3(2021)年2月に、栃木県重点戦略「とちぎ未来創造プラン」を策定しました。このプランは、中長期的な展望のもと、めざすとちぎの将来像を描き、その実現に向け、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間に県が取り組む施策の進め方等をお示しする県政の基本指針です。

また、県民の皆様や行政、NPO、団体、企業など多様な主体がそれぞれの役割を果たしながら、より一層連携・協力し、行動していくための共通の目標を示しています。

将来像として掲げた「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、デジタル化の進展、「新たな日常」やSDGsへの対応といった新たな視点を取り入れながら、人材育成戦略を第1の柱とする5つの重点戦略を着実に推進していきます。

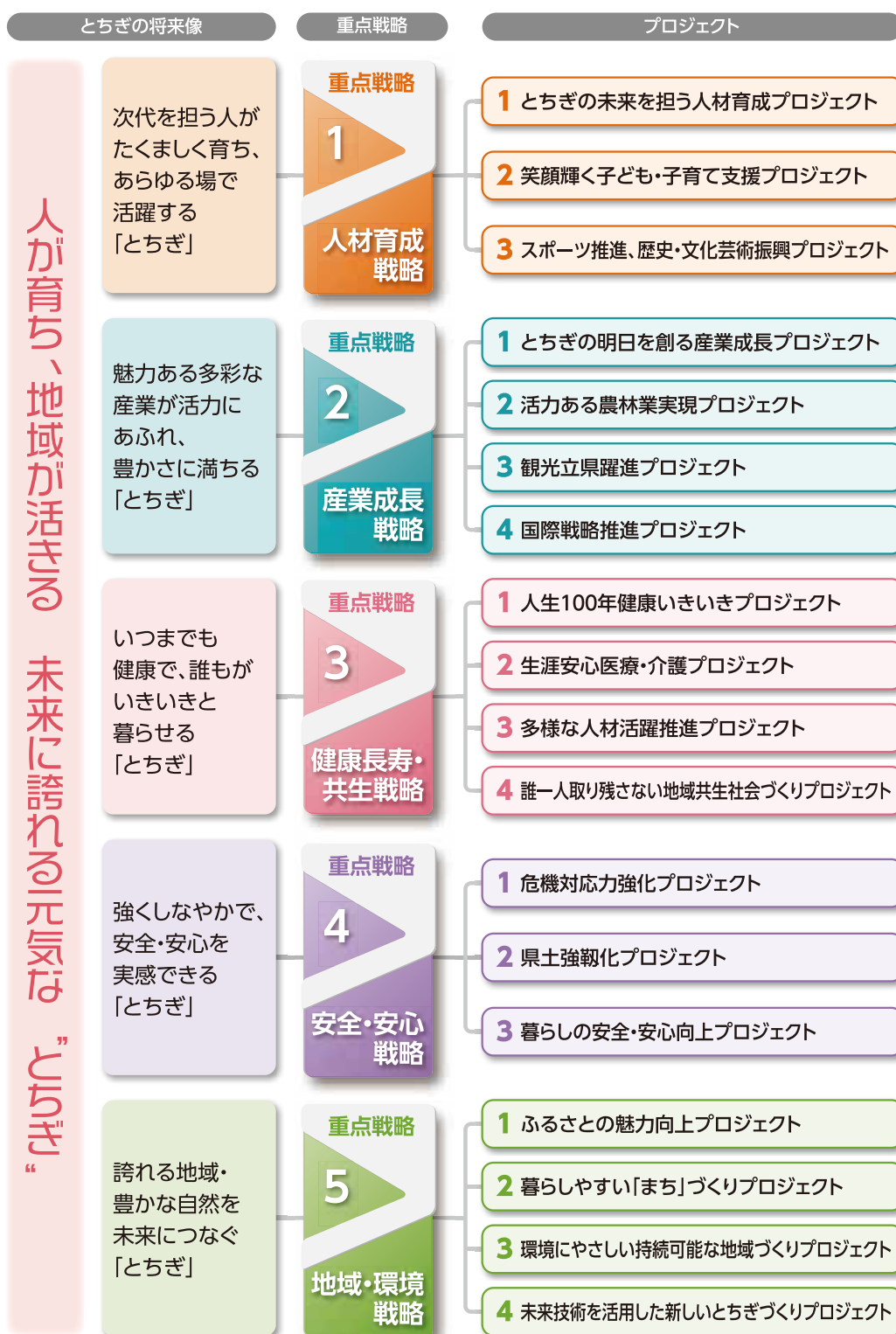


「とちぎ創生15戦略(第2期)」(栃木県版第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」)

急速な少子高齢化の進行等に的確に対応し、将来にわたり活力ある社会を維持していくため、「未来技術の活用」や「関係人口の創出・拡大」などの新たな視点を踏まえ令和2(2020)年度から令和7(2025)年度までの6年間を計画期間とする、「とちぎ創生15戦略(第2期)」を策定しました。

第2期戦略に掲げた魅力あるしごとづくりや新しいひとの流れの創出、結婚、妊娠・出産、子育て支援など15の戦略を本プランのプロジェクトに組み込み、一体的に展開していきます。

重点戦略の体系



人が育ち、地域が活きる
未来に誇れる元気な“とちぎ”

重点戦略の推進に向けて

将来像の実現に向けて、県民の皆さんとともに重点戦略に位置付けたプロジェクトを進めていくため、

- 1 協働による県政の推進
- 2 行財政基盤の確立
- 3 市町との連携・協働によるとちぎの自治の推進
- 4 とちぎ創生15戦略(第2期)との連携 に積極的に取り組んでいきます。

主な県有施設

◎栃木県立美術館

●宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566



国内外の近現代美術に関する企画展や収蔵品を活用したコレクション展を開催し、広く美術の紹介普及に努めています。その他、関連講座やワークショップなどの各種イベントも実施しています。

◎栃木県立博物館

●宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1311



郷土の自然と文化について資料の収集・保管、調査研究を行い、常設展をはじめ企画展やテーマ展で紹介しています。さらに、展示解説・各種講座・観察会・見学会・体験学習等を実施しています。

◎栃木県総合文化センター

●宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1000



芸術文化の鑑賞や練習・発表の場として利用できます。収容人員1,604名のメインホールと505名のサブホールをはじめ、広い展示スペースを持つギャラリー、音楽・演劇などの練習室、会議室などを備えています。

◎栃木県子ども総合科学館

●宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555



見て触れて操作できる体験型の展示品などで楽しみながら科学を学べる施設です。実物大H-IIロケット模型やプラネタリウムのほか、企画展、科学工作、大型反射望遠鏡を使った天文台公開などの催しを行っています。※現在大規模改修工事のため、屋内施設を休館しています(令和7年秋頃リニューアルオープン予定)

◎栃木県なかがわ水遊園

●大田原市佐良土2686 ☎0287-98-3055



那珂川の豊かな水と緑に親しみながら、地域の自然や文化を体験できる施設です。おもしろ魚館では、那珂川にすむ様々な魚を中心に、熱帯雨林や珊瑚礁の魚も観察できます。

◎とちぎ花センター

●栃木市岩舟町下津原1612 ☎0282-55-5775



温室や大花壇などで、一年中、花と緑を楽しめる施設です。国内最大級の鑑賞大温室では、熱帯・亜熱帯の花や果実などの常設展示や季節に合わせたとちぎの花を使った企画展示を行っています。各種イベントや園芸相談、花の寄せ植えなどの体験もできます。

◎栃木県立日光自然博物館

●日光市中宮祠2480-1 ☎0288-55-0880



最新のデジタル技術を活用した展示室にリニューアルし、奥日光を楽しみながら知ることのできる施設です。また、奥日光地域の情報発信基地として自然情報等の案内とともに、自然観察会や野外学習体験などの幅広い活動を展開しています。

◎栃木県総合運動公園

●宇都宮市西川田4-1-1 ☎028-615-0581(北・中央エリア)、☎028-658-5900(東エリア)



「県民総スポーツの推進拠点」としてカンセキスタジアムとちぎ(陸上競技場)、日環アリーナ栃木(メインアリーナ・屋内水泳場等)、ユウケイ武道館、エイジェックススタジアム(野球場(本球場))等の運動施設を備えるほか、「とちぎファミリーランド」があり、子どもからお年寄りまで楽しむことのできる公園です。

◎栃木県立なす高原自然の家(愛称:ウインディなす)

●那須町湯本157 ☎0287-76-6240



那須高原の恵まれた自然環境の中で、登山、ハイキング、雪中活動等の各種自然体験活動や創作・調理活動など、多様な体験活動の場を提供する生涯学習施設です。

◎とちぎ男女共同参画センター(愛称:パルティ)

●宇都宮市野沢町4-1 ☎028-665-7700



男女共同参画社会の実現に向けた県民一人ひとりの活動を支援する拠点施設です。センター内には、講演会、シンポジウムなど多目的な用途に利用できるホール、研修室、情報ライブラリーなどがあります。

◎栃木県立とちぎ海浜自然の家

●茨城県銚田市玉田336-2 ☎0291-37-4004



海に接することの少ない栃木県子どもたちに、「海の分教場」として海の自然や海にかかわる産業・文化などにふれる機会を提供するとともに、県民に多様な学習や体験の場を提供する生涯学習施設です。

ジミニー

◎栃木JIMINIE倶楽部 自然の家みかも

●栃木市岩舟町下津原1808-1 ☎0282-21-8799



青少年が様々な体験活動を通して、社会性や豊かな心を育むとともに、広く県民に生涯学習や交流の機会を提供する青少年教育施設です。

一部の施設では、県民の日や家庭の日を中心に、無料開放や利用料割引があります。詳しくは各施設にご確認ください。



あなたの声を県政に

●知事と語ろう! とちぎ元気フォーラム(県民と知事の対話集会)

「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向けて、県内各地で、県民の皆さんと知事が直接話し合います。



とちぎ元気フォーラム

●知事にアクセス(知事への提案・県政への意見)

県ホームページ上の受付フォームなどで、県政全般に対するご提案やご意見を募集しています。

●ジュニア知事さん

小学4～6年生の皆さんを対象に、「もし私が知事になったら、こんなことをしてみたい」というテーマで、県政についての作文を募集します。



ジュニア知事さん表彰式

●県政世論調査

県民の皆さんの県政に対する意識を把握するため、県内在住の方2,000人を対象に、年1回実施しています。

●とちぎネットアンケート

県内在住の満15歳以上(中学生を除く)で、協力者として登録いただいた方に、インターネットを利用して県政に関するアンケートを実施します。

●パブリック・コメント制度

県が計画等を策定する過程で、その計画等の案を県民の皆さんに公表して広くご意見を求め、提出されたご意見を計画等に反映させています。

とちぎネットアンケート
協力者募集中!

●県庁walk

県民の皆さんに県庁舎及び周辺施設をご覧いただき、県政への理解を深めていただきます。



登録はこちらから



相談窓口

県内には、県民プラザと9つの県民相談室があり、県政についてのご意見、ご要望、困りごとなどの県民相談を行っています。また、県民プラザや一部の相談室では、交通事故相談や医療相談も行っています。

お近くの相談窓口をお気軽にご利用ください。



各種相談窓口はこちらから

名称	所在地	電話	県民相談	交通事故	医療相談
県民プラザ	〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20 県庁舎本館2階	028-623-3765 (FAX)028-623-2057	●	●	●
上都賀県民相談室	〒322-0068 鹿沼市今宮町1664-1 上都賀庁舎内	0289-64-9419	●		
芳賀県民相談室	〒321-4305 真岡市荒町116-1 芳賀庁舎内	0285-82-5888	●		
下都賀県民相談室	〒328-8504 栃木市神田町6-6 下都賀庁舎内	0282-24-5665	●		
小山県民相談室	〒323-0811 小山市犬塚3-1-1 小山庁舎内	0285-22-9164	●		
塩谷県民相談室	〒329-2163 矢板市鹿島町20-22 塩谷庁舎内	0287-43-2142	●		
那須県民相談室	〒324-0041 大田原市本町2-2828-4 那須庁舎内	0287-23-1555	●	●*	
南那須県民相談室	〒321-0621 那須烏山市中央1-6-92 南那須庁舎内	0287-83-1555	●		
安蘇県民相談室	〒327-8503 佐野市堀米町607 安蘇庁舎内	0283-24-2603	●		
足利県民相談室	〒326-8555 足利市伊勢町4-19 足利庁舎内	0284-42-9700	●		

*那須県民相談室における交通事故相談(面接相談)は予約制です。希望する場合は県民プラザ(028-623-2188)へお電話ください。

県政情報

●広報紙「とちぎ県民だより」 毎月第1日曜日発行

県の施策やお知らせをイラストや写真を用いて分かりやすくお伝えする広報紙です。新聞の折り込みで県内の各世帯に配布しているほか、県内銀行、スーパー、コンビニエンスストア(いずれも一部)等に配置しています。県公式X・LINEでも閲覧できます。

なお、視覚に障害のある方に、点字広報誌「とちぎ」、声の広報「とちぎ」を作成し、毎月中旬(デジ版は毎月上旬)に発行しています。



●県外版広報紙「ふるさと“とちぎ”だより」

県の魅力・実力を分かりやすく紹介する県外向けの広報紙です。県外在住の本県出身者等(栃木県人会やとちぎ未来大使など)に配布しています。

●ホームページ

県の施策やお知らせ、観光情報など、様々な県政情報を発信しています。



●とちぎ県政出前講座

県が重点的に取り組む事業や県民生活に関係の深い事業などについて、県職員が直接出向くなどして、分かりやすく説明します。

●テレビ・ラジオの県政番組

テレビやラジオを通じて、県民の皆さんに県政情報を分かりやすくお伝えしています。

局名	番組名	放送日時		内容
とちぎテレビ	まるわかり! とちぎ	毎週水曜日	21:50~21:55	県の取組をまるごと、わかりやすく解説します。(手話通訳入り)
	魅せます! とちブラ	毎週土曜日 (再)木曜日	9:30~ 9:45 20:00~20:15	とちぎの地域資源やブランドの魅力を紹介します。(手話通訳入り)
	とちぎかわら版	毎週月~金曜日	21:35 (祝日21:15)	県の募集案内やイベント情報などを「とちテレNEWS9」の中でお知らせします。
	県議会議中継	本会議等 質疑・質問日	生中継	県議会議本会議と予算特別委員会での質疑・質問の様を生中継します。(手話通訳入り)
	県議会議ハイライト	5/5 8/4, 12/1, 2/2	17:20~18:00 17:30~18:00	県議会議本会議の様子のダイジェストなど、議会の活動状況を分かりやすく紹介します。
	“学”ビジョンとちぎ	第2・4月曜日	18:25	学校教育、生涯学習などの教育情報を「イブ6プラス」の中で紹介します。
ケーブルテレビ	県政ピックアップ	各ケーブルテレビで異なります。		県の施策や事業などを紹介します。(手話通訳入り)
	まるわかり! とちぎ 魅せます! とちブラ			とちぎテレビで放送する両番組を再放送します。(手話通訳入り)
栃木放送	県政インフォメーション	毎週月~金曜日	7:10~ 7:15 17:30~17:35	県の募集案内やイベント情報などをお知らせします。
	県政ナビ	第2・4土曜日	11:00~11:05	県の施策や行事などを紹介します。
	ダイヤモンド☆ユカイの VERYGOODとちぎ	第1・3土曜日	12:10~12:20	とちぎの様々な魅力などを紹介します。
	県議会議中継	本会議等 質疑・質問日	生中継	県議会議本会議と予算特別委員会での質疑・質問の様を生中継します。
エフエム 栃木	マロニエインフォメーション	毎週月~木曜日 毎週金曜日	17:25~17:30 17:26~17:31	県の募集案内やイベント情報などをお知らせします。



とちぎ未来大使が
県の魅力をご紹介します!



さらに! 今年度から新たに齋藤樹愛羅さん、高瀬くるみさん、永井壘さん、ベリー大坪さんがレギュラー出演!



県民の日マスコット「ルリちゃん」

1月15日
いちご王国・栃木の日

6月15日
県民の日



とも家事推進キャラクター「ともジカ」



家庭の日

11月22日
とも家事の日

毎月第3日曜日
ふれあい育む家庭の日



とちぎのあらまし 2024
令和6年4月発行



〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-3757 FAX 028-623-2057
<https://www.pref.tochigi.lg.jp>

栃木県の最新情報をお届けしています♪



YouTube